

(様式1)

校種	小・中 どちらかに○	学校番号	8	学校名	宇都宮市立昭和小学校
----	---------------	------	---	-----	------------

令和7年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

国際社会の中で、日本人としての自覚を持って生きようとする、心身ともに健康でたくましく、創造力と実践力に満ちた、心豊かな児童の育成を目指す。

(2) 具体目標 (具体的な児童生徒像など)

- ① 心豊かで思いやりのある子【徳】 (やさしい子)
- ② 自ら学び自分をのばす子【知】 (よく学ぶ子)
- ③ 健やかでたくましい子【体】 (元気な子)

2 学校経営の理念

(1) 基本理念

誰もが安心して学べ、活力にあふれる学校で、未来を担う児童を育みます。

(2) 校訓 (昭和の小三つの教え) 「本気で学べ 元気で遊べ 正しく生きよ」

3 学校経営の方針

- (1) 確かな学力と豊かな心を育む教育を進める
- (2) 教職員がいきいきと勤務できる環境を整え、信頼される教職員を育てる
- (3) 地域とともにある学校づくりを進める

【星が丘地域学校園教育ビジョン】

『未来を見つめ、主体的に生き抜く力の育成』

～ 認め合い、学び合い、高め合う児童生徒を育てる取組をととして ～

4 教育課程編成の方針

- (1) 本校教育課程は、日本国憲法・教育基本法・学校教育法及び同施行規則、小学校学習指導要領、並びに県の方針や「第2次学校教育推進計画(うつのみやいきいき学校プラン)」・「第2次宇都宮市学校教育スタンダード」・「星が丘地域学校園教育ビジョン」に基づき、創意ある教育課程を編成する。
- (2) 本校教育目標・経営方針や努力点・学校課題等を踏まえ、児童の実態・特性、学校の施設・設備、職員組織の実態等を十分考慮して、心豊かでたくましく生きる児童の育成を目指して編成する。
- (3) 新学習指導要領及び宇都宮市小中一貫教育の趣旨を生かし、確かな学力を身に付けるための適正な時数の確保に努める。また、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」の資質・能力を一人一人の児童が確実に身に付けられるようにすることを目指して編成する。
- (4) 各教科・道徳・総合的な学習の時間等、相互の関連を図った系統的・発展的な指導を心掛け、児童の自主的・実践的活動や体験的な活動を多く取り入れた特色ある教育活動が展開できるよう編成する。なお、「社会に開かれた教育課程」の観点から地域等の意見の反映にも努めたい。

5 今年度の重点目標 (「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○)

(1) 学校運営

- 児童の自己肯定感を高めるための学習指導、児童指導等の充実 《褒める取組の推進》
- ・教職員が教育活動に専念するための業務改善 《業務の効率化と業務分担の明確化》
- ・地域の教育資源を活用できる体制づくり 《家庭や地域等との連携・協働》

(2) 学習指導

- ・主体的・探究的・協働的に学ぶ児童の育成

(3) 児童生徒指導

- ・自分を大切にし、他者もかけがえのない存在として大切にできる態度・実践力の育成

(4) 健康 (体力・保健・食・安全)

- ・自他の命や健康の大切さを知り、健康・安全・体力の向上に心がける態度・実践力の育成

6 学習指導、児童生徒指導、健康 (体力・保健・食・安全) に関する取組

※ 様式2～4参照

7 特色ある学校づくり等に関する取組

(1) 育てたい資質・能力

- ・これからの時代を生きる児童に必要となる資質・能力である自己肯定感、目標に向かって挑戦するたくましさ、規範意識、思いやりなどを育みます。

(2) 具体的取組 (提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇)

- ◇・八幡山ウォークラリー大会、山野横断持久走大会などの学校行事を、豊かな自然に恵まれた八幡山公園の施設を有効に活用して実施する。
- ◇・生活科、総合的な学習の時間などの年間計画に、学校の近くにある八幡山公園や県庁等の施設に関わる活動を位置付けて、計画的に校外学習する機会を設ける。
 - ・「うつのみや学校マネジメントシステム」を活用し、特色ある活動等を評価し、改善を図るとともに、評価の結果と改善方針をホームページ等で公表する。

8 本市の重点施策・事業との関連

(1) 地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携・協働を含む）

①基本的な考え

- ・学校が、家庭・地域・企業等とのつながりを深めながら、課題や目標を共有し、学校教育活動の充実のための取組を進めるとともに、地域の教育資源を活用できる体制づくりを促進する。

②主な取組

- ・学校、家庭、地域が課題や目標を共有し、つながりを強化するため、「さくら連絡網」や学校ホームページ等を活用した情報発信により、積極的な情報発信に努める。
- ・地域の教育力を活用した教育活動を展開するとともに、「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を強化し、学校の教育活動の一層の充実に努める。
- ・各種調査や学校評価の結果分析などを通じた、地域の現状や住民の意向等の把握に努める。

(2) 小中一貫教育・地域学校園

①基本的な考え

- ・小・中学校の連携による義務教育9年間を通じた系統的な指導や地域の教育資源を活用した特色ある教育活動を推進する。

②主な取組

- ・学習活動を通して、児童生徒の相互評価の場の設定に努める。
- ・基本的な生活習慣の定着を通して、褒める種をまき、「認めて褒めて励ます」指導の推進に努める。
- ・特別活動の充実を通して、児童生徒の活躍の場の創出に努める。

(3) 不登校対策

①基本的な考え

- ・不登校児童の個々の状況に応じた支援の充実を図るため、教職員一人一人の対応力の向上や組織的な不登校対策の取組を推進する。

②主な取組

- ・「1日休んだら電話、2日休んだら家庭訪問、かわり続けてきっかけ探し」を実行し、不登校の未然防止に努める。
- ・不登校傾向や兆候のある児童の早い段階での情報共有（ケース会議）をすることで、担任サポートの充実や学校全体での初期対応に努める。
- ・不登校児童への組織的な対応を強化するとともに、家庭や関係機関等との連携を図り、支援体制の充実に努める。

(4) GIGAスクール構想

①基本的な考え

- ・情報化社会で生きるために必要な資質・能力を育むため、児童の主体的な学びをサポートする1人1台端末を活用した教育活動を推進する。

②主な取組

- ・校内研修により、教師の基礎的な活用能力の向上に努める。
- ・児童が日常的に活用する能力の育成を目指すとともに、デジタル・シチズンシップ教育の更なる充実に努める。
- ・教科や特別活動等での積極的な活用を心がけるなど、学校生活の中での実践的能力の育成に努める。

(5) 宇都宮学

①基本的な考え

- ・郷土・宇都宮の伝統や文化について理解し、郷土への愛情と誇りをもてるようにする教育活動をより一層推進する。

②主な取組

- ・郷土の文化財、伝統文化、食文化、地域の人々が受け継いできたことなどに触れる機会の充実を図る。
- ・「道徳科地域教材」を用いた道徳の時間の指導の充実を図る。
- ・昭和地区における地域資源の教材化を図る。